

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M212P206		診療に伴う援助技術 (Nursing Skills for Medical Care)					基礎看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	1	2	医学部看護学 科	後期	金1,金2	日本語				複数(共同)					
担当教員	氏名 佐藤祐貴子、清村紀子、内川洋子、佐藤佑佳、廣田美咲、原田千鶴（非常勤講師）、安藤敬子（福祉健康科学部） E-mail haraguti@oita-u.ac.jp 内線 5031														
授業の概要	本科目は、看護に共通する基本技術を基盤とし、科学的根拠に基づく、看護技術の原則を踏まえた診療に伴う援助技術を学ぶ。生命維持に必要な人間の生物学的な構造機能を理解し、安全で確実な医療の提供が行われるように感染予防や症状管理、与薬、検査、創傷管理などの看護技術の修得を目指す。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	学習する看護技術の原則・根拠を説明できる。								○						
目標2	原則に沿って目的および根拠をもった看護技術が実施できる。								○						
目標3	安全で確実な診療に伴う援助技術について述べられる。											○			
目標4	看護技術の実施体験から、看護者としての自己の課題に気づき言語化できる。														○
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度（計10）									4			4			2
授業の内容															
1 診療に伴う看護技術とは、感染防止の技術（スタンダードプリコーション、手指衛生）															
2 感染防止の技術（無菌操作）															
3 創傷管理技術（褥瘡）															
4 排泄援助技術（グリセリン浣腸）															
5 排泄援助技術（持続的導尿）															
6 食事援助技術（非経口的栄養摂取）															
7 呼吸を整える技術（酸素療法）															
8 呼吸を整える技術（排痰ケア；吸引、吸入）															
9 症状・生体機能管理技術（静脈血採血：基本的知識）															
10 症状・生体機能管理技術（静脈血採血：演習）															
11 看護技術探求学修プレゼンテーション グループワーク															
12 症状・生体機能管理技術（静脈血採血：実技チェック）															
13 与薬の技術（筋肉内注射：基本的知識）															
14 与薬の技術（筋肉内注射：演習）															
15 看護技術探求学修プレゼンテーション プレゼン															
ラーニング目標	A:知識の定着・確認		○ A：事前学習、概念化シート、 B:意見の表現・交換 C:応用志向		○ B：リフレクションシート、概念化シート、ディスカッション、レポート C：グループ演習、実技テスト		工夫その他の	・対象者/看護者役割の体験、グループワーク、グループ演習、ディスカッション							
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		テキスト該当範囲の熟読、テキスト内の動画の閲覧、事前学習課題への取り組み（毎回1h：計15h）												
	事後学修		授業内容の復習、看護技術の反復練習（毎回1h：計15h）												
	想定時間合計		30												
教科書	・茂野 香おる 他：基礎看護技術，第19版,医学書院,2023，ISBN 978-4-260-04992-4 ・任和子 他：基礎看護技術，第18版,医学書院,2021，ISBN 978-4-260-04212-3 ・竹尾恵子 監修：看護技術プラクティス第4版，学研メディカル秀潤社，2019，ISBN 978-4780913231														
参考書	坪井良子他編：考える基礎看護技術 第3版，ヌーヴェルヒロカワ，2005，ISBN 978-4902085099														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末テスト	70%	○	○								
	プレゼンテーション	20%	○	○	○							
	学修成果物・レポート	10%	○		○	○						
注意事項	* 授業前は、準備学修を必ず行ってくること。 ・ 清潔に留意し、服装・髪型・爪を整えてユニフォームとナースシューズを着用し参加すること。 ・ 防寒用のカーディガンは演習・実習で利用できる専用のものを準備しておくこと。（ジャンパー、コート等不可）											
備考	科目の連絡や課題の提示、資料配布は、毎回Moodleを活用する。（各自で確認すること）											
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無	○											
教員の 実務 経験	看護師：佐藤祐貴子，清村紀子，安藤敬子 他 保健師：安藤敬子											
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無	○											
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	看護師：原田千鶴											
実務経験を いかした教 育内容	臨床での豊富な経験と、熟練の技術をもって診療に伴う援助技術について教授する。											